

エコアクション21 環境経営レポート

2024年3月～2025年2月

作成 2025年 4月 9日
更新 2025年 6月11日

 株式会社工又エス機器

目次

- 1. 組織の概要 p3-4
- 2. 環境経営方針 p5
- 3. 環境経営目標とその実績 p6-7
- 4. 主な環境経営計画と活動の内容 p8-11
- 5. 環境関連法規の違反、訴訟の有無 p12
- 6. 代表による全体評価と見直し記録 p13-14
- 7. 外部表彰 p15

1. 組織の概要

①事業者名および代表者氏名： 株式会社工又エス機器 代表取締役 阿部 秀敏

②所在地：〒987-1102 宮城県石巻市和渕字日照131番地

③事業活動の概要および認証・登録の範囲：

航空・宇宙・自動車部品の研磨・鏡面、バフ研磨・外観検査、各種電材品販売

以上、(株)工又エス機器全社（(有)三里工産を含む）を対象とする

④事業規模：資本金 3,332万円

	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
売上高	百万円	197	231	252	305	296
従業員数	人	43	54	59	63	65
床面積	m ²	1,263	←	1,318	←	1,713

1. 組織の概要

⑤組織図

- ・全体の評価と見直し・指示
- ・環境方針の制定・見直し
- ・環境管理責任者の任命
- ・環境への取組に必要な資源の準備
- ・実施体制の構築
- ・課題とチャンスの明確化

- ・環境経営システム全体の構築・運用責任
- ・環境担当者、事務局の任命
- ・代表者への報告

- ・部門員への指示
- ・部門内の報告まとめ
- ・部門内の提案まとめ

代表者
代表取締役

環境管理責任者
管理部 部長

管理部 部長（兼）

事務局

- ・環境管理関連事務

ダイカスト加工課

担当者

ブレード加工課

担当者

樹脂加工課

担当者

研磨加工課

担当者

事務所（電材係）

担当者

2. 環境経営方針

当社は電子機器の電子機器部品の目視による外観検査を主業務としておりますが、以下ワイヤーハーネスの組立・加工・検査、ダイキャスト製品の表面仕上げ、ナイロン製結束バンドの販売業務活動を通して、地球環境保全の為にエネルギーや資源を効率的に利用し、また使用量を削減するとともに、廃棄物のリサイクルを推進し、循環型社会の形成に貢献することを誓います。また、下記のような環境負荷の低減と汚染の予防活動に積極的かつ継続的に取り組みます。

1. エコアクション21に基づく環境経営システムに取り組み、環境関連の法令、条例等の規制事項を遵守するとともに、地域・業界・顧客の環境関連要求事項に配慮しつつ、環境活動の継続的改善を図ります。
2. 環境目標及び行動計画の策定において下記事項を重要活動として捉え、その効率的活動を推進します。
 - ①二酸化炭素排出量削減のために省エネルギーの推進
 - ②廃棄物の分別徹底によるリサイクルの推進
 - ③節水活動の推進
 - ④グリーン購入の推進
3. この環境方針は全従業員に周知すると共に一般への公開を図ります

2008年9月30日制定 2018年3月12日見直し

株式会社エヌエス機器 代表取締役 阿部 秀敏

3. 環境経営目標とその実績

- ※1 購入電力の排出係数は【2017年度実績 東北電力 0.523kg-CO2(調整後)】で計算実施
- ※2 仕事量の増加および工場増築の為、前年度実績を基準に**目標値を上方修正**としている
- ※3 2023年度は暖冬傾向で灯油使用量が少なかったため、予測値として算出

環境目標	2023年度実績	目標/実績	2024年度	評価(前年度比較/目標値比較)	評価コメント	2025年度	2026年度
二酸化炭素排出量削減	120,141 【kg-CO2】	目標値	163,545		前年に対し 増加	前年1%削減 161,916	前々年2%削減 160,286
		実績値 【kg-CO2】	136,310	○			
電力使用量の削減	163,302 【kWh】	目標値	220,458		前年に対し 増加	前年1%削減 218,253	前々年2%削減 216,049
		実績値 【kWh】	184,349	○			
燃料使用量の削減(ガソリン)	2,660 【L】	目標値	3,192		前年に対し 減少	前年1%削減 3,160	前々年2%削減 3,128
		実績値【L】	2,143	○			
燃料使用量の削減(軽油)	9,399 【L】	目標値	12,220		前年に対し 増加	前年1%削減 12,098	前々年2%削減 11,976
		実績値【L】	11,801	○			
燃料使用量の削減(灯油)	1,385 【L】	目標値	3,278		前年に対し 増加	前年1%削減 3,245	前々年2%削減 3,212
		実績値【L】	2,231	○			
燃費(軽油)の確認	平均 8.8 【km/L】	目標値	8.5 km/L以上		前年並み		
		実績値【km/h】	8.7	○			
LPG使用量の削減	147 【kg】	目標値	199		前年に対し 減少		
		実績値【kg】	130.4	○			

3. 環境経営目標とその実績

- ※1 購入電力の排出係数は【2017年度実績 東北電力 0.523kg-CO2(調整後)】で計算実施
- ※2 仕事量の増加および工場増築の為、前年度実績を基準に**目標値を上方修正**としている
- ※3 2023年度は暖冬傾向で灯油使用量が少なかったため、予測値として算出

環境目標	2023年度実績	目標/実績	24年度	評価 (前年度比較 / 目標値比較)	評価コメント	25年度	26年度
産業廃棄物の削減	1,330 【kg】	目標値	2,015		前年に対し 大幅な増加		
		実績値 【kg】	4,768	××			
一般廃棄物の削減 (紙ごみ)	1,026 【kg】	目標値	1,231		前年並み	前年1%削減 1,219	前々年2%削減 1,206
		実績値 【kg】	1,044	○			
節水活動の推進	384 【m ³ 】	目標値	461				
		実績値 【m ³ 】	396	○	前年並み		
地域環境への貢献活動	1回/年	目標値	1回/年				
		実績値 【回】	1	○	前年並み		
資源の効率的利用のための不良率低減活動 (分析・報告)	1回/月	目標値	1回/月				
		実績値 【回】	1	○	前年並み		
グリーン購入	—	目標値	環境適合品優先購入				
		実績値		○	前年並み		
コピー用紙の削減 A4サイズ購入枚数	35,000 【枚】	目標値	34,650		前年に対し 大幅な増加	前年1%削減 34,300	前々年2%削減 33,950
		実績値 【枚】	56,000	××			
作業者の力量確認	2回/年	目標値	2回/年				
		実績値	2回/年	○	前年並み		

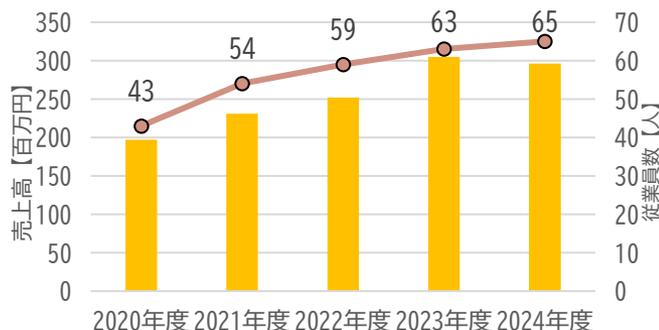
4. 主な環境経営計画と活動の内容

二酸化炭素排出量の推移



売上増加に伴う
目標の上方修正

売上高／従業員の推移

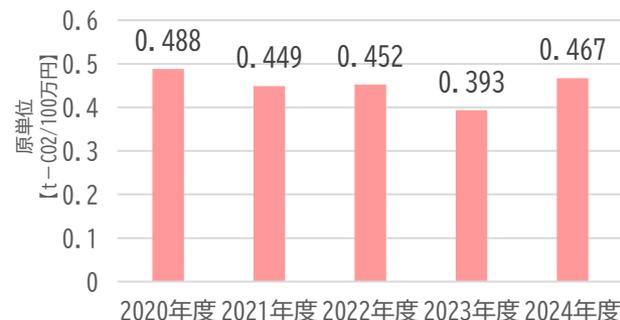


当社のエネルギー使用量の内訳としては電力69.7%、化石燃料30.3%となっております

中期計画3年の間で、売上も上昇傾向のため3年ごとに目標を上方修正しております

生産増加にともない、人員増加も毎年行っております

原単位比較 CO2排出量/売上高 (100万円あたり)



原単位（100万円当たりのCO2排出量）での比較は上記の通りです

前年度は売上も好調でしたが、2024年度は生産が止まった製品もあり振るわず、さらに第7工場も稼働となっていることから、電力使用量が増加して数値が上昇しております

しかし、2020年度から4.4%減少しておりほぼ1年に1%ずつ低減させている計算です

次年度の取組事項

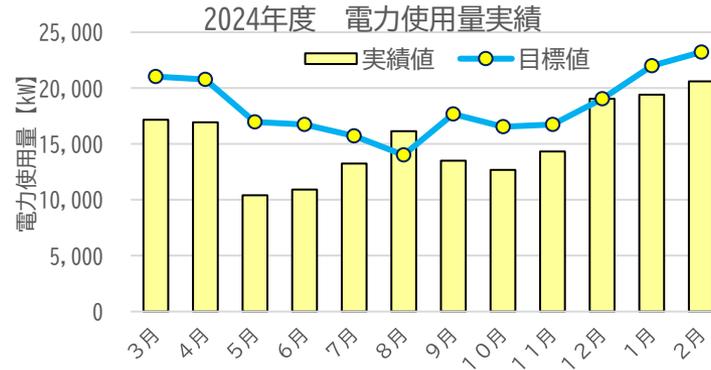
当社のエネルギー使用量は7割が電力使用、3割が化石燃料です

- 1) 電力使用の大半を占めるコンプレッサ、ブラスト、エアコンの効率的な使用を行ないます
- 2) 社用車の適切なエンジンオイル交換、エコドライブの徹底、タイヤの空気圧チェック、運送ルート見直しを実施します
- 3) 原単位（百万円当たりのCO2排出量）での把握をおこないCO2排出量のみの推移以外も確認を行ないます

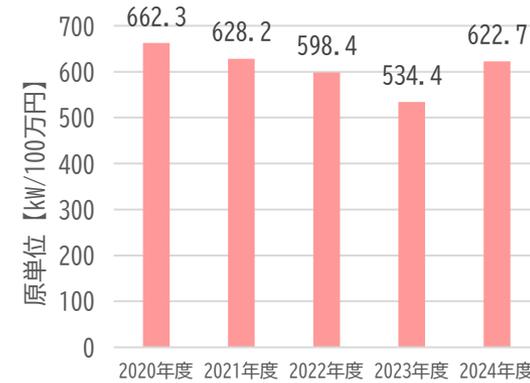
などを進め、今後の事業活動においての二酸化炭素排出の低減に取り組みます

4. 主な環境経営計画と活動の内容

電力使用量の推移



原単位比較 電力使用量/売上高 (100万円あたり)



当社の電力使用量の年度別推移は上記の通りとなっております
売上の増加とともに電力の使用量も増加をしております

電力使用量の大半はコンプレッサー、エアコン、ブラストが占めております

月別の電力使用量を見ると、暑い時期（8月）と寒い時期（12月～2月）に使用量が多くエアコンが大きい要因となっております

11月後半以降は第7工場も操業を開始したため、使用量が増加しております。次年度以降も増加することが予想されます

原単位で見ると徐々に減少傾向であったが、今年度は第7工場が操業開始したこともあり電力使用量が増加しております

それに加えて生産が止まっている製品もあり売上が思うように伸ばせず、数値が上昇してしまっています

次年度の取組事項

- 1) エアコン/室温の温度管理の徹底・フィルターの定期清掃の実施いたします
- 2) LED照明への随時交換を進めます
- 3) デマンドによる管理の実施をいたします

などを進め、今後の事業活動においての二酸化炭素排出の低減に取り組みます

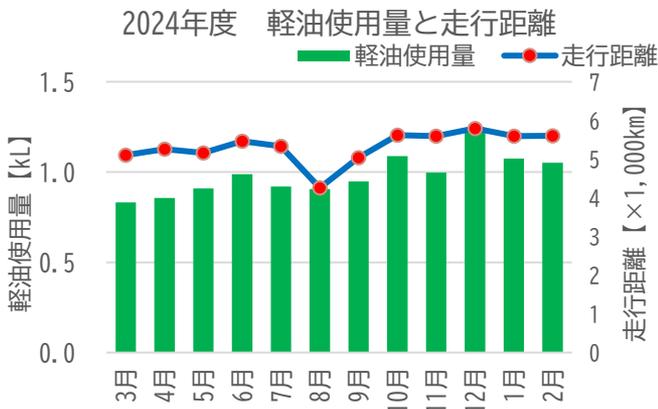
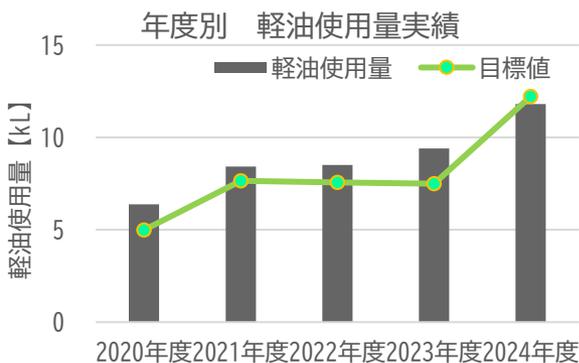
NEW

デマンドモニターを設置いたしました

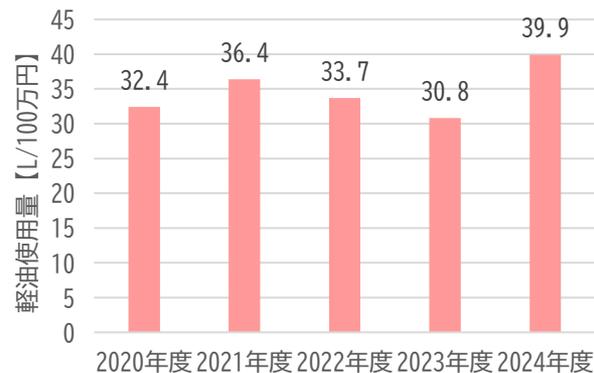


4. 主な環境経営計画と活動の内容

軽油使用量の推移



原単位比較 軽油使用量/売上高 (100万円あたり)



当社の軽油使用量の推移は上記の通りです
 売上高は、2020年度に対し24年度で1.5倍
 となっておりますが、軽油使用量はほぼ2
 倍となっております

月別の走行距離は8月を除いてほぼ一定
 となっております
 しかし軽油の使用量は8月、10月、12~2
 月が多いようです。エアコン使用、アイ
 ドリングによる増加と考えられます

原単位で比較すると、ここ5年で一番高い
 数字となっております
 顧客先への納品や営業でどうしても燃料
 は使用してしまいますが、少しでも消費
 を抑えるよう努力していかなければなり
 ません

納品の回数増加や回る顧客先の追加など
 で軽油の使用量は増加しております



次年度取組事項

- 1) エコドライブの徹底をいたします
- 2) エンジンオイルなどの定期的な交換をおこない、燃料の消費量削減に努めます
- 3) 運送ルートや使用する車両の見直しをおこない、効率の良い運行状況を進めます

などを進め、今後の事業活動においての二酸化炭素排出の低減に取り組めます



4. 主な環境経営計画と活動の内容

(1) 電力使用量の削減

- ① 不要な照明の消灯
- ② 作業中断時の電源オフ
- ③ エアコンの温度管理



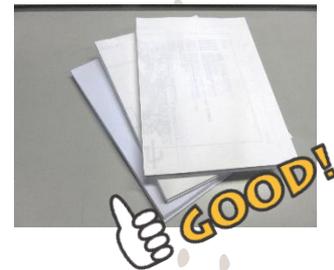
(2) 燃料使用量の削減

- ① 車両の走行距離の低減・運用見直し
- ② エコドライブの徹底
- ③ ファンヒーターの清掃、ウォームビズの実施



(3) 廃棄物排出量の削減

- ① 廃棄物分別の徹底
- ② かごや袋に無駄なく詰める
- ③ ミスコピーなどのうら紙利用
メモ用紙として再利用



(4) 資源の効率的利用

- ① 取引先への不良フィードバック
(再製造利用・再発防止)
- ② 白黒コピーの推奨
- ③ ミスコピーの低減



(5) 地域環境への貢献活動

- ① 工場周辺のゴミ拾い・草刈り
- ② 近隣学校等の会社見学
- ③ 就労支援施設への業務委託
- ④ 避難・消火訓練



株式会社ダンライフ様
(就労継続支援A型事業所)
HPより借用
<https://danlife.co.jp/>

5. 環境関連法規の違反、訴訟の有無

法規制等名称	遵守評価	確認年月日
建築物省エネ法	○：省エネ適合	2025/3/10
フロン排出抑制法	○：簡易点検の実施	2025/3/10
廃棄物処理法	○：処理業者許可期限確認、 マニフェストの発行ほか	2025/4/1
家電リサイクル法	○：廃棄等なし	2025/3/10
建設リサイクル法	○：建築面積対象外	2025/3/10
自動車リサイクル法	○：廃棄なし	2025/3/10
浄化槽法	○：11条 検査実施	2025/3/10
消防法	○：消火器 期限確認	2025/3/10
宮城県産業廃棄物の処理の 適正化に関する条例	○：廃棄物管理責任者 任命済	2025/3/10
宮城県公害防止条例	○：指定区域外（アプリで 簡易的に騒音測定実施）	2025/3/10

6. 代表による全体評価と見直し記録

見直し
関連情報

項目	環境管理責任者の報告
1. 環境経営目標及び目標達成状況	<ul style="list-style-type: none">・ 第7工場が竣工することもあり目標を上方修正した結果、全体的に目標値を下回りました・ 産業廃棄物を顧客返却から切り替えたこともあり、目標を上回る結果となっています
2. 環境経営計画及び取組実施状況	主な取組事項は計画通りですがゴミ拾いは、ゴミが少なかったため草刈りに切り替えて実施しました
3. 環境関連法要求一覧及び順守状況	法令違反等ありませんでした
4. 外部コミュニケーション対応及び記録	従業員の自家用車の速度が速く、歩行者が危ないとのこと指摘がございました
5. 問題点の是正・予防処置の実施状況	不具合流出への対応や不安定作業の改善を実施いたしました
6. その他	なし

6. 代表による全体評価と見直し記録

代表者による全体評価・見直し指示	全体評価・コメント	次年度は工場増設により仕事量が増加するので排出量の推移に注意。今年度、Jクレジット購入によるカーボンオフセットを実施（2t-CO2）	
	（環境経営システムの有効性、環境への取組の適切性）		
	見直し項目	変更の必要性	変更がある場合の指示事項等
	1. 環境経営方針	なし	
	2. 環境経営目標	なし	（前年度に）目標を上方修正しており、各数値は目標値を下回っている。売上高による原単位管理をおこないCO2排出の抑制に努めていきます
	3. 環境経営計画・取組項目	なし	
	4. 環境経営システム	なし	
	5. 実施体制	なし	
6. その他（外部への対応等）	なし		

7. 外部表彰



第13回「富県宮城グランプリ」受賞

国の出先機関、県内の市町村、企業・団体、地方振興事務所等から推薦（自薦を含む。）のあった企業・団体等（合計13件）から、県内の産学官の主要団体で構成する「富県宮城推進会議」幹事への意見聴取等を経て知事が決定しました。（宮城県HPより抜粋）



第18回「いしのまき大賞」受賞

いしのまき大賞は、地域経済や産業に顕著な功績を挙げた企業・団体・個人を対象とし、全国的な商品展開や技術評価、伝統産業の普及、街づくりへの貢献、経済振興などを評価します。地域イメージや話題性、貢献度、業界シェアや将来性も審査ポイントです。

Thank you

環境管理責任者：小林 秀之

TEL:0225-72-4037

E-mail:ns-kiki@ic-net.or.jp

<https://ns-kiki.com>



※画像は弊社社長です